音源探索情報紹介収載

音源探索情報紹介【2017No.21】（HP 収載）

Web Site(雑誌)：DiGi Fi
URL(巻号)：No.28
Site 標題：スペシャルハイレゾサンプラーDVD-ROM はオリジナル・レコーディング音源
副題：
関連 Site：https://store.stereosound.co.jp/products/detail.php?product_id=2683
管理者：ステレオサウンド社
課金：DVD 付録
備考１：和文
備考２：
備考３：
概要：

DiGi Fi No.28 の DVD 付録に関する上記サイトの「スペシャルハイレゾサンプラーDVD-ROM はオリジナル・レコーディング音源」という記事の内容を以下に引用します。
「スペシャルハイレゾサンプラーDVD-ROM はオリジナル・レコーディング音源！
好評をいただいているハイレゾサンプラーDVD、本号はオリジナル・レコーディング音源をお届けします。アコースティック・ギターデュオの Nicogi（ニコギ）とヴォーカリストのとしみんが計 4 曲を披露。プロデューサー

兼レコーディング・エンジニアは近年、山下達郎や竹内まりやなどの録音を手掛けている中村辰也。環境の整ったレコーディング・スタジオにおいて、192kHz/24 ビット、5.6MHz DSD、11.2MHz DSD の 3 フォーマットで一発同時録音したハイレゾ音源の持ち味がどこまであなたのオーディオシステムで享受できるのか、じっくりとお聴きください。聴きどころ満載のこれらの音源が入手できるのは本誌だけです。」

Fundamental × STEREOSOUND DVD-ROM

※再生方法は152ページに掲載しています

Part 1

一発同時録音の緊張感を
3フォーマットで収録
音の違いを体感せよ

今回のレコーディングの目的は3種類のフォーマットの違いを捉え、
それを読者の皆さんの再生環境で聴き比べてもらうことにあった。
録音は各フォーマットの音の違いをきちんと収録するため、
東京・三田にある「MITスタジオ」を選定。
演奏するのはギターデュオ「Nicogi」とヴォーカリスト「としみん」。
プロデューサーとレコーディング・エンジニアは第一線で活躍する中村辰也さん
（プロフィールは12ページに掲載）。
スタジオ常設のコンソールアウトをアビッド・テクノロジーProTools（192kHz/24ビットPCM）、
タスカムDA-3000（5.6MHz DSD）、マージング・テクノロジーズPyramix+Horus
（11.2MHz DSD）の3種類のレコーダーに各々入力し、同時収録している。
編集を施していない一発同時録音のため、
スタジオの広さや暗騒音、演奏者の緊張感までがおのずと伝わってくる

10

『Fundamental & StereoSound』DVD
オリジナル・レコーディング音源

写真＝小沢英男

Recorders

※デジタル・オーディオ・ワークステーション

フォーマット1	フォーマット2	フォーマット3
PCM 192kHz/24ビット	DSD 5.6MHz	DSD 11.2MHz
アビッド・テクノロジー ProTools マルチトラック収録に対応した現代DAWキのスタンダード	タスカム DA-3000 最高5.6MHz DSD録音に対応した1Uサイズ・レコーダー	マージング・テクノロジーズ Pyramix+Horus 最高11.2MHz DSD録音に対応したレコーダー

1曲目 Over The Rainbow 作曲：ハロルド・アーレン 作詞：エドガー・イップ・ハーバーグ 聴き聞きどころ 左chの6弦ギター、右chの12弦ギターの音色の違いに注目。フォーマットの違いによりヴォーカルの印象まで変化する		
Track 1	Track 5	Track 9
2曲目 Akatonbo 作曲：山田耕筰 聴き聞きどころ 軽妙なアレンジが聴きもののインスト。2人のギター奏者の呼吸までが伝わってくる繊細な演奏に引き込まれる		
Track 2	Track 6	Track 10
3曲目 Summertime 作曲：ジョージ・ガーシュイン 作詞：デュボーズ・ヘイワード 聴き聞きどころ 2本のアコースティック・ギターならではのアンサンブルが聴きもの。としみんのデリケートなコーラス・ワークも必聴		
Track 3	Track 7	Track 11
4曲目 Epilogue 作曲：鈴木哲（Nicogi） 聴き聞きどころ 鈴木哲によるギター・ソロ。先の3曲とはマイキングやミックスが大幅に異なる。フォーマットの差異が如実に伝わってくる		
Track 4	Track 8	Track 12

Track 1～4はアビッド・テクノロジーProToolsで192kHz/24ビットPCM、Track 5～8はタスカムDA-3000で5.6MHz DSD、Track9～12はマージング・テクノロジーズPyramix+Horusで11.2MHz DSDにて収録しています。なお、『Summertime』（Track 3/7/11）の1分44秒前後に入るノイズは、演奏時のものです。再生環境によってDSD（DFF）ファイルのみ、PCMよりレベルが小さく聞こえることがあります。再生機器の音量を調整してお聴きください

Artists

Guitarist 齊藤純示　Vocalist としみん　Guitarist 鈴木哲

DigiFi 11

192kHz/24 ビット、5.6MHzDSD、11.2MHzDSD の 3 フォーマットで一発同時録音した音源が DVD のセットで供給されています。192kHz/24 ビット音源の録音は Pro Tools で、5.6MHzDSD 音源の録音は TASCAM DA-3000 で、11.2MHzDSD 音源の録音は Pyramix と Horus でそれぞれ実施されたものです。同時録音ですので、途中に変換プロセスがなく、3 フォーマットの特徴を正確に把握できるものとなっています。

音源を fidata に収納し、fidata→Sonica DAC の USB 直結で聴いてみますと、192kHz/24 ビット→5.6MHzDSD→11.2MHzDSD の順にリアルさが増し、11.2MHzDSD になると、まるでその場に居合わせたかのような雰囲気の中で聴くことができます。と言っても 192kHz/24 ビットが決して悪いわけではなく、かなりのリアリティをもっていますが、ボーカルの印象で言えば 192kHz/24 ビットがマイクを通した声、11.2MHzDSD が肉声と言った印象です。

一方、Windows8.1 の PC の TASCAM Hi-Res Editor で再生し、SWD-DA20 に Bulk Pet 伝送（別途詳しい報告を予定）で送り出して聴いてみますと、192kHz/24 ビット→5.6MHzDSD→11.2MHzDSD の順にリアルさが増すことは同様ですが、fidata からの再生の静寂感や安定感には及びません。

以上